タイトル：OTブロック勉強会を開催しました

本文：コロナ禍に入ってからは東讃西讃開催ではなく、学術部ブロック勉強会としてZOOMでのWEB開催を行なってきました。今後対面での勉強会も増えてきますが、ブロック勉強会は今年度もZOOM開催を実施していきます。

今年度第１回目となる開催は令和5年4月25日に実施しました。26名の参加がありました。

「訪問リハビリテーションを通して復職に至った脳卒中片麻痺患者の一例」

MIRAI病院　大倉功将　先生

「頚髄中心性損傷(不全損傷)により、痺れ·疼痛を来たした症例　～料理動作再獲得に向けて～」

MIRAI病院　村上美沙希　先生

以上２演題発表して頂き、その後グループでディスカッションを行いました。

訪問リハビリで長期的に関わっている症例と、急性期での介入、悩みとそれぞれ様々な視点持つことのできる症例提示でした。

参加者からは、いろんな人の意見を聞ける機会があってよかった。村上先生の発表は頚損の方で認知行動療法の話が出て、検討出来、新鮮でした。大倉先生の発表は急性期で働いているとなかなか経験できないような内容を検討出来てとても勉強になりました。具体的な介入方法、評価のポイント、段階づけなど知識を得ることができた。考察や解釈などが分かりやすく、とても勉強になった。復職に対する介入などとても参考になった。痺れや痛みの捉え方も、中枢以外で認知的な捉え方も改めて知り、臨床で活かしたいと思いました。グループでのディスカッションにて様々な方の意見や経験からの考察などの考えを共有、意見交換をすることで新たな知見が発見できるなど参加側のメリットもあり大変勉強になり参加できてよかったと感じた。とポジティブな感想を沢山いただけました。

運営側としてはブレイクアウトルームの使い方や、検討事項の提示など修正する箇所がまだまだあり、ご迷惑をおかけしました。今後対応していけるよう努力します。

今後も新人さんの発表の場、横とのつながりを広げる場としてブロック勉強会は開催していきます。中堅者やベテランの先生達も参加しています。日々の学びや症例の視点など、同じOTとして院外の方と共有し相談できる場があることは大切なことだと思っています。学びたい人が学べる場を今後とも提供していきたいと思っています。次回は7月27日を予定しています。多くの参加者を募集しています。よろしくお願いいたします。

執筆担当：鶴窪良樹